

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁フォールド明和		
○保護者評価実施期間	2025年1月27日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月22日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感をもって通所していて、 通所を楽しみにしている 季節の行事(初詣、節分、ひな祭り、夏祭り、その他)のほか、食育やお出かけなど、子どもや保護者様が楽しめるイベントを積極的に実施している	朝礼では必ず活動内容や役割、 リスクマネジメントについて確認し、 終礼では必ずその日の振り返りを行い、 改善点や子どもの様子を共有し、 安心で安全な支援へとつなげている	今後も楽しく通所していただけるよう、 職員一同、明るい雰囲気と笑顔を欠かさないようにする
2	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている (駐車場スペースもある程度確保できるので、 夏祭りなどのイベント等も開催しやすい)	子どもが活動中に気にしてしまうような物は 置かないよう配慮している	適切なスペースは確保できてはいるが、 パーティション等を配置して、 個別で過ごせる環境を整える
3	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、 子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	送迎の際に、保護者様より伝えられた内容は、 終礼や朝礼で必ず共有している	子どもや保護者様の立場に立ち、 内面的に持つ力を発揮できるような体制を整えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数が十分とはいえない	ご利用者様に対して十分な支援ができるよう、 余裕のある職員数を配置できるようにする	職員数を増やすとともに、 研修やミーティング等で 職員一人ひとりのスキルアップをはかっていく
2	ご家族に対して、 家族支援プログラムや ご家族等が参加できる研修などを 提供する機会が十分ではない	子どものためにご家族と一緒に取り組む活動を 積極的に行えていなかった	保護者会やイベントだけではなく、 ご家族が参加できる研修や 必要としている情報を 提供する機会を設けていく
3	外国語を話される保護者様との コミュニケーションが不足している	母国語が日本語でないご利用者様が少なくない	翻訳アプリを利用したり、 わかりやすい日本語を使うなどして コミュニケーションをとり、 より一層強い信頼関係を築いていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	緑フォールド明和		公表日		2025年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	こどもが活動中に気にしてしまうような物は置かないよう配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2		適切なスペースは確保できているので、パーティション等を設置して個別で過ごせる環境を整えます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼で必ず活動内容や役割、リスクマネジメントについて確認を行い、安心して安全な支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼で必ずその日の振り返りを行い、改善点や改善案、子どもの様子等を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	かかりつけの医療機関と現状の共有や必要なサポート、その方法等について連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	お迎え時に園での様子を必ず伺い、情報の共有を行っています。また、担当者会議を開催して相互理解を深めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	7		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	地域の児童や大人の参加を募り、夏祭りを開催し、交流を深めました。	地域の公園・児童館遊びの際に触れ合う機会はありませんが、より増やしていきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		保護者会やイベントに限らず、ご家族が参加できる情報提供の機会を設けていきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	面談やモニタリングの時間を充分にとり、心配事や困りごとの相談に応じしています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	父母の会に参加して保護者様の不安や悩みを傾聴したり必要に応じて助言を行っています。また、保護者会を開催して、交流する機会も設けています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	地域の児童や大人の参加を募り、夏祭りを開催し、交流を深めました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	保護者様から伺った内容を共有し、誤飲誤食の無いように、しっかりと対応しています。	医師からの指示書が無い場合もあるので、受け取れるようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		SNS等を活用して事前周知を徹底していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎日必ず行う振り返りミーティング中で、ヒヤリハットについての共有と対策を検討しています。また、ヒヤリハットが無かったときは、様々な事案を想定した事前の準備や職員の連携が取れていたことも共有しています。	ヒヤリハットから事故につながるケースが多いので充分に対策を講じます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0			